

りんどう早生品種「恋りんどう」における全茎収穫栽培の適用条件

【1 成果概要】

りんどう早生品種「恋りんどう」で全茎収穫栽培(図1)ができる条件は以下のとおりです。

- (1) 収穫後の切り下株の高さは **50 cm** を確保します。

慣行栽培並みに草勢(草丈、花段数)を維持し、欠株を低く抑えることができます(表1)。

- (2) **草丈が 140 cm程度** まで伸びたほ場で行います。

収量は上位等級品を確保しながら、慣行栽培に比べ株当たり 1.5 本程度増加します(図2)。

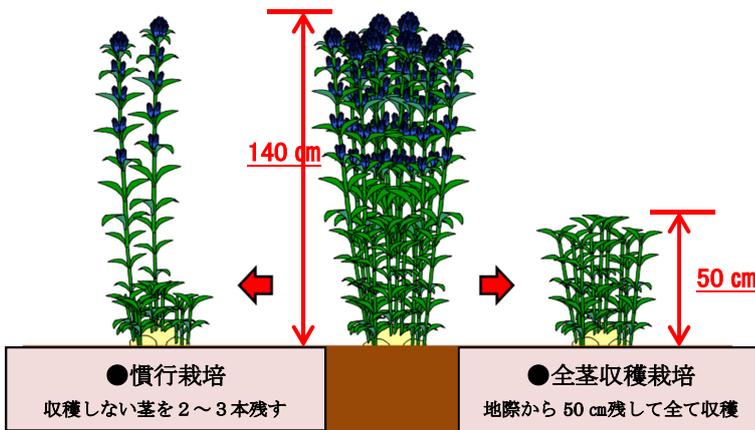


図1 全茎収穫栽培のイメージ

表1 試験ほ場の生育状況

	ほ場A(H30)		ほ場B(R1)		
	草丈 (cm)	花段数 (段)	草丈 (cm)	花段数 (段)	欠株率 (%)
30cm区	129.7	4.7	109.7	5.1	15.0
40cm区	134.1	5.1	111.7	4.9	8.3
50cm区	138.2	5.7	117.1	5.4	3.3
慣行区	-	5.9	116.0	5.4	5.0

※ほ場A、Bともに4年生株の調査結果

※仕立て本数:株当たり10本

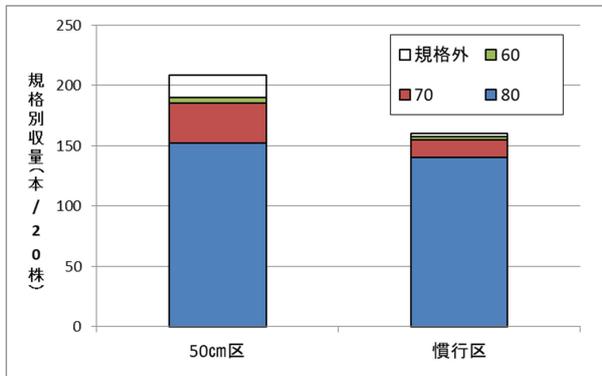


図2 ほ場A(草丈140cm程度)の規格別収量(20株当)

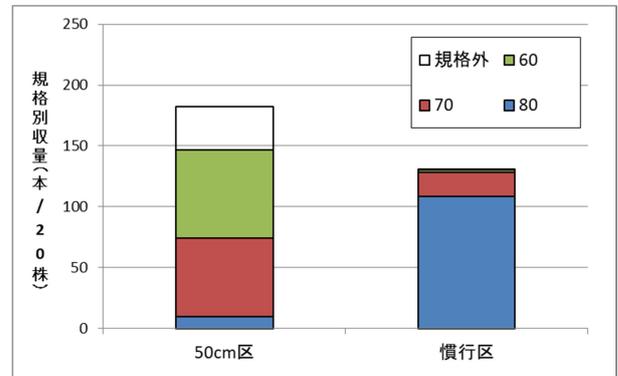


図3 ほ場B(草丈120cm程度)の規格別収量(20株当)

※「岩手県青果物等標準出荷規格」に基づいた調査結果(図2、図3共通)

- 規格外(色なし):切花長60cm未満、花段数2段以下
- 60(緑):切花長60cm、花段数:3段
- 70(赤):切花長70cm、花段数:4段
- 80(青):切花長80cm、花段数5段以上=「上位等級品」

【2 留意事項】

- (1) 本栽培は生育が揃い、株が充実した定植3年目以降のほ場で行います。
- (2) 切り下株の高さ30cm、40cmでは、草勢が低下し、欠株も多くなります(表1)。
- (3) 草丈の低い圃場で切り下株の高さ50cmを確保すると、切り花の長さが不足するため、下位等級品や規格外品が多くなります。(図3)
- (4) 収穫後も葉枯病などの病害虫の防除を徹底し、秋遅くまで良好な状態を維持します。